

ま え が き

宇都宮市は、奥州街道と日光街道の追分にある門前町や城下町として、人やモノ、情報が行き交う北関東随一の商業都市として、古くから栄えてきたまちです。

ご承知のように商業は地域経済の中心的役割を果たすとともに、まちの賑わいづくりや地域の文化創出などにも貢献しています。

こうしたなか、本市においては、市民の豊かな暮らしを支える活気と活力のある社会を築くためのビジョン、「第5次宇都宮市総合計画」を平成20年3月に策定し、中心商店街の活性化に向けた様々な取り組みとして、ユニオン通りに「ほっと！Station」、オリオン通りに宇都宮アンテナショップ「宮カフェ」のオープン、オリオンスクエアやバンバひろばなどの中心市街地拠点広場の機能充実や学生のまちづくり提案による「学生による空き店舗活用事業」などを行っているところであります。

しかしながら商業を取り巻く社会経済環境は依然として厳しい状況にあり、中心商業地においても、環境変化への対応が強く望まれ、より一層の集客や活性化が急務になっております。

本調査は、通行量の流れと来街者の消費動向を様々な角度から把握し、中心部の現状を明らかにすることにより、今後の商業振興策に役立つ基礎資料とするため、実施いたしました。

皆様におかれましては、本調査の結果を、今後の商店経営や商店街活動をはじめとする宇都宮のまちづくりにご活用いただければ幸いです。

おわりに、本調査にご協力いただきました関係各位に対しまして、心から御礼申し上げます。

平成23年11月

宇 都 宮 市
宇都宮商工会議所